

## 令和5年度 高田中学校 学校評価アンケートについて

12月に実施された「学校評価アンケート」につきまして、ご協力いただき誠にありがとうございました。その結果をご報告させていただきます。アンケート結果については1「そう思う」+2「だいたいそう思う」のプラス評価が7割を超えたものについてはおおむね達成したものととらえ、また、3「あまりそう思わない」+4「そう思わない」が2割を超えたものを特に課題のある面ととらえました。

- 併設型小中学校の取組の一環として、今年度も高田中ブロック（高田中・高田小・高田東小）で共通の質問項目を設け、学校評価を実施しました。そのうち、今年度は設問2「協力する素晴らしさを感じている」については、肯定的な回答の割合が、生徒では今年度も9割を超え、保護者・教職員では9割には届かなかったものの、8割後半といずれも高いものでした。経年で比較すると、昨年度に引き続き8割以上となっており、本校の教育活動が引き続き成果を上げていることがうかがえます。

一方設問3「小中連携」については、昨年度より生徒・教職員のプラス回答の割合が増えているものの、保護者の肯定的な回答の割合が若干低くなっています。今年度においても昨年度同様、児童生徒交流日に小学生の授業見学や部活動見学を行うなど、コロナ禍以前の状態まで活動が活発化していますが、活動に対する認知が希薄であることが考えられます。地域・保護者の皆様へのていねいな活動状況報告が必要であると感じました。

また設問1「進んで学ぶ姿勢」については、昨年度に引き続き、今年度も生徒のマイナスの回答の割合が微増しており、また保護者のマイナスの回答の割合も2割を超えています。ICTを活用した授業の導入など、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢を育むようにしていますが、今後の教育活動のさらなる充実を心がけていきたいと思えます。

- 設問4「生き生きと学校生活を送っていますか」、設問5「生命を尊重し、心身の健康維持、向上に努めていますか」、設問8「相手を思いやる気持ちが高まっていますか」についても、生徒・保護者・教職員ともに昨年度に引き続きプラス回答8割を超えており、人権・道徳の指導の成果が現れていると思えます。

- 設問7「体力の向上」については、今年度の生徒のマイナス回答が昨年度より増えて1割を超えています。生徒全体としてはプラス回答が8割を超えていますが、運動に対して苦手意識をもつ生徒の数の割合が増えてきていることが考えられます。運動の楽しさや達成感を感じられる授業や行事を行うよう心がけていきたいと思います。
  
- 設問9「進路指導」については、今年度の保護者のプラス回答が昨年度に引き続き7割を下回っています。今年度より公立高校の出願がオンライン化したこともあり、新システムに対する円滑な周知が困難だったことが考えられます。今後はより緊密で丁寧な指導を心がけていきたいと思います。
  
- 設問10「学校の決まりを守っていますか」の回答は、今年度昨年度に引き続きも生徒・保護者・教職員ともにプラス回答が9割を超えるという結果になりました。また、今年度では設問11「基本的生活習慣」の回答もすべて9割を超えています。日々の職員・生徒・家庭の連携を今後とも継続していけるようにしていきたいと思います。
  
- 設問14「分かりやすい授業」、設問17「地域とよく連携していますか」について、今年度は保護者のプラス回答の割合が昨年度より5%程度ともに増加しています。設問14については分かりやすい授業展開をさらに心がけるとともに、来年度は授業公開の頻度を多くして授業のようすを見ていただく機会を増やしていきたいと思います。設問17についてはコロナ禍による活動の制限がなくなり、地域と連携した活動が活発になってきたことが認知されてきたと考えられます。今後も活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。
  
- 設問15「行事の充実」については、生徒・保護者ともに昨年度に引き続き回答が8割を超えており、多くの生徒・保護者に満足していただけたことは良かったと思います。
  
- 設問18「ICTを活用した学び」については、昨年度に引き続き生徒のプラス回答が8割を超えています。学校全体で更に充実した取組を心がけていきます。

最近では学校を取り巻く環境や社会情勢が大きく変化しつつありますが、今後も多くの生徒にとって、学校が安心して生き生きと活動できる場所であるように、教職員一同頑張っていきたいと思います。